http://npo-atone.jimdo.com

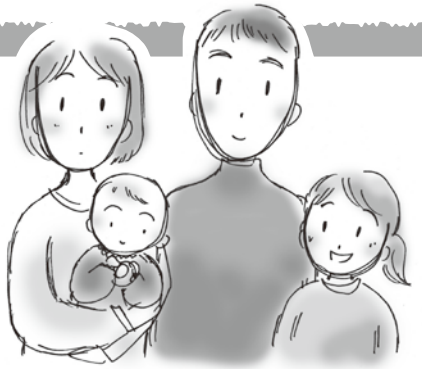
NPO法人
あっとわん
ママのこころと笑顔の応援団

第146号
通信

あっとわんは子育て支援の団体です。親と子のエンパワメントを応援しています。　2016年1月22日発行 46,370部

大切な家族と子どもの未来を考える

がん検診 受ける前に知っておきたいお金の話し



有名な女優さんの急逝や闘病をきっかけにがん検診を受ける方がたくさんいらっしゃるようです。がんは早期発見と早期治療で治る確率が非常に高くなってきましたし、検診の結果、何の問題もなければホントに安心できると思います。積極的に検診を受けに行かれる事は素晴らしいと思います。ですが、いくつか知っておいて欲しいことがあります。

がん治療は日々進化しています。2006年にがん対策基本法が施行され、2007年にははがん診療連携拠点病院の整備が始まりました。1996年の平均入院日数は46日でしたが2011年には19日と短くなり、通院での治療が増えました。先進医療の陽子線治療が受けれる施設も全国に増えてきて、平成25年に名古屋市北区の名古屋市陽子線治療センターで陽子線治療がスタートしました。免疫療法も進化しております。早期発見、早期治療でがんも治る時代になってきたといえます。

とはいえ、やはりがんの治療にはそれなりにお金がかかってしまうのが現状です。現在どんな治療があって、その治療にいくらぐらいの費用が必要かご存知でしょうか?治療を受けるにあたって資金準備はどのようにされていますでしょうか?先進医療や自由診療の情報はご存知でしょうか?治療のためにひょっとしたら他の目的で貯めていた貯金を取り崩してしまう可能性は?

この講座では次のことを一緒に学び、考える時間にしたいと考えています。

- **がんの基礎（人は何故がんになるのか）**
- **医療制度の基礎（健康保険が使える治療、使えない治療）**
- **医療格差とセカンドオピニオン（専門医と病院の選び方）**
- **資金準備の方法（保険、住宅ローン、銀行の使い方）**
- **人生の選択肢（ご自身にとって大切なこと）**

がんというものを理解し、治療方法を知り、資金準備をしっかり確認して、もしがんと診断されても ご自分が望む最善の治療を選択できる準備をしておいてください

早期発見と早期治療で治る確率が非常に高くなってきたとはいえ、せっかくご自分に合った良い治療方法が見つかったとしても、貯蓄を取り崩したり、資金不足のためにその治療を諦めなければならなくなる事もございます。
やはり資金準備はとても大切なことです。その方法をいくつか知っておいて欲しいと思います。

例えばがん保険。加入している保険で資金準備をと考えている方もいらっしゃるかもしれません。決してあって欲しくないことですが検診でもしがんと診断されてしまったら、新たに保険に加入したり保障の見直しが難しくなってしまいます。今加入している保険の保障内容で治療に臨むしかありません。がんと診断される前と後では選択肢が全く違うことになりかねません。保障内容をしっかり確認されてから検診に行かないと取り返しのつかないことになってしまうことがあります。

大切な家族と子どもの未来のために、必ずがんに勝つ!

健康な今だからこそ、できる準備をしておきましょう!

講座を東部子育てセンターで開催します。
申込み等詳細は、東部子育てセンターだよりの紙面をご覧ください。

大切な家族と子どもの未来を考える
～ガン検診 受ける前に知っておきたいお金の話し～
平成28年2月23日（火）9:45～11:15
講師：多田浩一氏（ファイナンシャルプランナー）

あっとわんのFacebookページでイベントなどの様子をアップしています。　http://www.facebook.com/npoatone　いいね！してね！

あっとわんのホームページ
http://npo-atone.jimdo.com

ブログも読んでね！
代表理事　河野弓子のブログ　https://ameblo.jp/berinyan/
東部子育てセンターのブログ　http://blog.canpan.info/atone-toubukosodate

あっとわん春秋

「何かやりたい！」という思いを持った方のご相談を受けたり、講座を開催したりすることが多くなりました。多くの方は、自己実現や打ち込めるものを見つけて動いていきたいと願っているように思います。ただ、それを実現するには大変なこともあるのは事実です。自分の思い通りにならないことも多々ありますし、予想外のことが起こりその対処を迫られたりすることもあります。できれば、そんな苦労はしないで、楽しくて有意義なことだけやりたいと願う人も少なくありません。▼また、やりたいことを実現するためのアドバイスが欲しいという方の中には、その内容が自分の意に沿わないのでしょうか、「できない理由」を言う人も少なくありません。明確な「できない理由」ではなく、言われたことを素直に聴くことを無意識にしない方も多かったりするのです。なにかにつけて、「でも」「だって」を枕詞にする人は、うまくいくこともうまくいかなくなります。事業や活動だけではありません、子育てや生き方そのものに関わっています。結局自分がやりたいようにやりたいのであれば、自分の責任において引き受けていくしかないと考えます。多様な意見を聴いて行動していくことの難しさを感じることが思いのほか多いのです。

かわのゆみこ